

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック準決勝＞

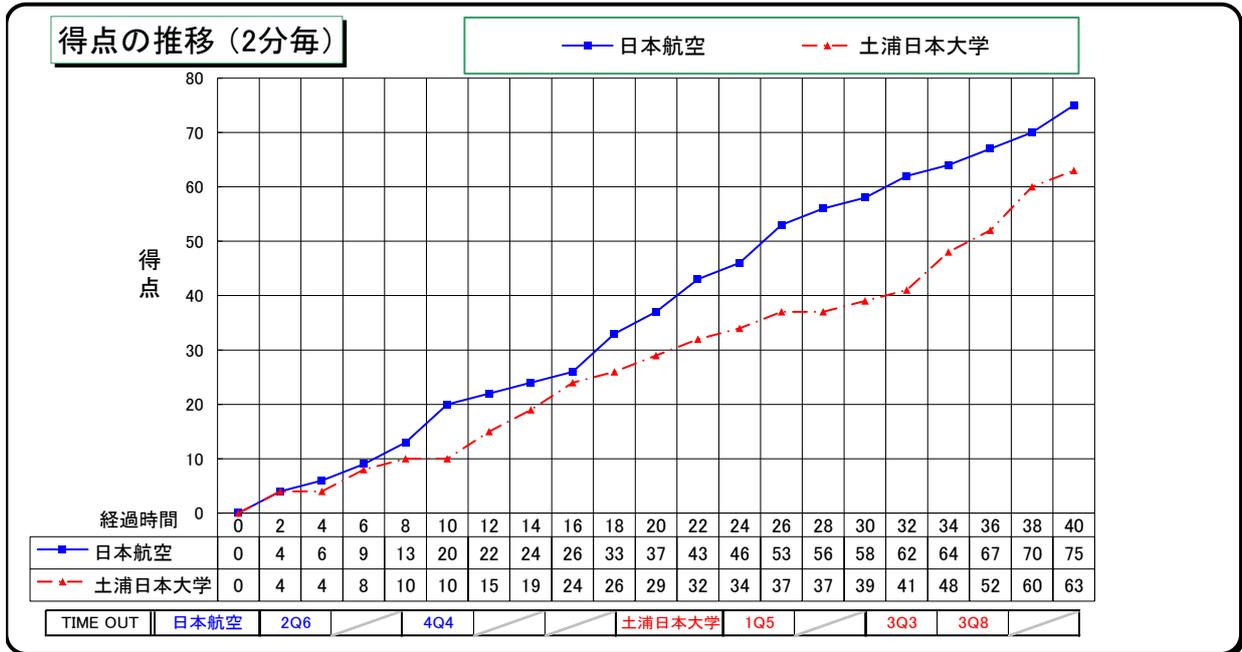
令和5年6月4日(日)	アダストリアみとアリーナ	大会2日目	Aコート	第2試合 11:00～												
<チームA> 日本航空 山梨		75 <table border="0"> <tr><td>20</td><td>1Q</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>2Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>21</td><td>3Q</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>4Q</td><td>24</td></tr> </table>	20	1Q	10	17	2Q	19	21	3Q	10	17	4Q	24	63	<チームB> 土浦日本大学 茨城
20	1Q	10														
17	2Q	19														
21	3Q	10														
17	4Q	24														

主審：加納 康平（神奈川） 第1副審：細田 知宏（東京） 第2副審：大山 賢史（栃木）

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
	0	西田 壮良											
○	1	藤野 仁喜	2	1	1	5				3			
◎	7	青木 王哉	8	2	3	1	3			4	3	1	
◎	9	福岡 恭輔	8		2	4	8				2		1
	10	山崎 柁威											
◎	23	オルフベルミ・ジェラマイア	26	1	12	22	2	4	2	9	14	3	
◎	30	大道 一步	16	2	6	5	10			2	3	2	
	33	大矢 颯太											
	34	久保田 楓羽											
◎	58	中西 哲太	15	3	9	3	4			2			1
	66	酒井 基充											
	70	林 天創											
	77	高橋 蓮夢											
○	87	須崎 優斗											
	99	三村 テール アンソニー											
		コーチ 山本 裕											
合計			75	7	22	26	52	2	4	13	11	20	8

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	北條 勇吹	20	3	6	4	5	3	3		1	3	
◎	5	深澤 桜太	12		7	6	16			3	5	8	
○	6	ディンニヤット ティエン											
○	7	加藤 颯真											
◎	8	渡邊 康生	1		11			1	2				2
◎	9	大川 亜哩	5	1	2	1	3				3	1	
○	10	齋藤 翔太	18	1	4	7	12	1	3	1	1	4	1
○	11	遠藤 龍之介	4		2		5	4	4	2	2	1	
○	12	平岡 皇太郎			1						1	1	2
◎	13	三谷 拓夢			1		1				1		
	14	廣木 啓人											
	15	夏目 悠良											
○	16	室橋 秀光	3	1	2							1	
	17	染谷 真太郎											
	18	松尾 好誠											
		コーチ 佐藤 豊文											
合計			63	6	36	18	42	9	12	6	11	21	6

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者：増澤 恵美

関東大会Aブロック準決勝、日本航空(以下、航空)と土浦日本大学(以下、土浦)のゲーム。

第1Q、航空はハーフコート1-3-1ゾーン、土浦はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。土浦はゾーンに対し、パス回しからのアウトサイドシュートを狙う。航空はドライブインでディフェンスを崩し、合わせた#23ジェラマイアにボールを集める。土浦は#23ジェラマイアの高いシュートに対するファウルが続く。土浦#5深澤がシュートファウルをしたところで、土浦がタイムアウトを請求。土浦はオフェンスのテンポを上げ、ドライブインからのアウトサイドシュートを狙うが、決めきれない。20-10の航空リードで第1Q終了。

第2Q、土浦は2-3ゾーンでゴール下の守りを固める。対する日本航空もゾーンプレスをし、簡単にはシュートを打たせない。両者激しいディフェンスに攻めあぐねる中で、土浦#4北條の3Pが決まり、流れが変わる。土浦#10齋藤のジャンプシュートが続けて決まり、26-21となったところで航空がタイムアウトを請求。再開後は、決められたら決め返すという戦い。37-29で前半終了。

第3Q開始直後、#23ジェラマイアのゴール下が決まる。さらにこぼれたボールを#23ジェラマイアがリングにたたき込む。勢いに乗せたくない土浦はタイムアウトを請求。しかし再開後、航空#58中西の3Pが連続で決まり、航空が流れを掴む。航空は積極的にアウトサイドシュートを狙い、落ちたボールは#23ジェラマイアがリバウンドを取る。航空#7青木の3Pで56-37になり、土浦が再びタイムアウト。土浦はオールコートディフェンスのプレッシャーを強めるが、点差は縮まらない。58-39で第3Q終了。

第4Q、点差を詰めた土浦は、速攻からのドライブインを狙う。戻りが遅れた航空はファウルがかさむ。チームファウルがたまった航空はタイムアウトを請求。再開後も、土浦は激しいディフェンスで相手のミス誘い、速攻につなげ、残り2分で10点差まで詰め寄る。しかし航空は慌てず、#30大道がボールをコントロールし、落ち着いたパス回しを展開する。土浦がそれ以上点差を詰められないまま、75-63で試合終了。日本航空が決勝に駒を進めた。